

# I 事業報告書

## 1. 一般概況

### (1) とうもろこしの国際需給の動向

2022/23年度の生産量は、世界全体で前年度比4.9%減の11億4,752万トン、消費量は、世界全体で対前年度比3.3%減の11億5,675万トンと見込まれている。この結果、期末在庫量は、対前年比1.5%減の2億9,646万トンで、期末在庫率は、前年度を0.5ポイント上回る25.6%と見込まれている。

2022/23年度の米国産とうもろこしの生産量は、対前年度比9.2%減の3億4,875万トンと見込まれている。需要量は、米国の飼料向け需要では増加し、輸出等においては減少し、対前年度比7.5%減の3億5,092万トンと見込まれ、この結果、期末在庫量は、対前年度比6.8%減の3,408万トン、期末在庫率は9.7%と見込まれている。作付面積は、対前年度比7.2%減の3,205万haと増加し、単収は前年度比1.9%減の10.9トン/haと見込まれている。(令和5年3月8日公表のUSDA需給報告時点)

### (2) 国内の配合飼料生産の動向

令和3年度の配合飼料生産量は、2,371万トンで対前年度比100.4%となり、畜種別では、養鶏用(対前年度比100.1%)、乳牛用(同102.7%)及び肉牛用(同101.4%)において増加し、養豚用(同98.9%)については、微減した。

令和4年4月～令和4年12月の配合飼料生産量は、1,780万トン、対前年度同期比99.8%となっており、畜種別では、肉牛用(同102.2%)で増加し、養鶏用(同99.5%)、養豚用(同98.5%)及び乳牛用(対前年度比99.4%)については、微減した。

### (3) 価格の動向

#### ① とうもろこしのシカゴ相場

とうもろこしのシカゴ相場については、ロシアのウクライナ侵攻により令和4年3月には750セント/ブッシェル前後まで急騰し、さらに、米国における作付遅延等から4月下旬には820セント/ブッシェル台まで高騰した。その後、米国産地での生育に適した天候が続いたことにより7月には600セント/ブッシェルまで下落した。その後、南米産地の乾燥による作柄悪化懸念等により一時690セント/ブッシェルまで上昇したものの、前年を上回る作付け見通しの発表を受け下落し、令和5年3月末では、660セント/ブッシェル台で推移している。

#### ② フレート

米国ガルフ/日本間の海上運賃は、年度当初85ドル/トン前後で推移していたが、原油相場の下落や、中国向け石炭等の輸送需要の減少から、9月末までに60ドル/トン前後に下落した。その後、原油相場の下落などもあり、令和5年3月末では53ドル/トン前後で推移している。

#### ③ 為替レート

外国為替は、令和4年3月中旬以降、米国における利上げの実施による日米金利差拡大により、6月には1ドル135円前後、10月には1ドル150円まで円安が進んだ。その後、米国の利上げペースの減速予想、日銀による長期金利の変動許容幅の拡大等

により一時1ドル128円台まで円高が進んだものの、米国のさらなる利上げ見込み等から円安が進み、令和5年3月末では1ドル133円前後となっている。

#### ④ 配合飼料価格

配合飼料価格については、令和4年度第1四半期は、シカゴ相場の高騰などから、前四半期に対し引き上げられた。

第2四半期は、シカゴ相場の高騰などから、前四半期に対し引き上げられた。

第3四半期は、前四半期に対し据え置かれた。

第4四半期は、シカゴ相場の下落などから、前四半期に対し引き下げられた。

## 2. 入会預り金の状況

令和4年度においては、会員及び会員からの入会預り金に異動はなかった。令和5年3月31日現在の入会預り金の状況は、次のとおりである。

会 員 別	入会預り金口数	入会預り金額
	口	千円
(独)農畜産業振興機構	8,000	800,000
(一社)全国配合飼料供給安定基金	1,268	126,800
(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金	113	11,300
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	1,613	161,300
全国農業協同組合連合会	798	79,800
全国酪農業協同組合連合会	39	3,900
全国畜産農業協同組合連合会	1	100
全国開拓農業協同組合連合会	1	100
日本養鶏農業協同組合連合会	1	100
(協)日本飼料工業会	1,166	116,600
計 10 団体	13,000	1,300,000

## 3. 業務運営

### (1) 配合飼料価格安定対策事業（公益目的事業1）

#### ① 交付契約数量

令和4年度の各契約基金との異常補填交付金交付契約数量は、当初24,278,664トンであり、基金別では、全国配合飼料供給安定基金6,706,237トン、全国畜産配合飼料価格安定基金1,265,361トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金16,307,066トンであった。

9月に各基金間移動に伴う交付契約数量の変更を行った結果、全国配合飼料供給安定基金6,708,600トン、全国畜産配合飼料価格安定基金1,266,022トン、全日本配合飼料価格畜産安定基金16,304,042トンとなり、総交付契約数量に変更はなかった。

② 異常補填交付金交付事業

令和3年度第4四半期

(単位：kg、円)

基金名	補填単価	補填対象数量	交付金の額	交付年月日
全農基金	1,749 円/トン	1,528,440,038	2,673,235,099	令和4年5月12日
畜産基金	1,749 円/トン	283,403,667	495,672,085	
商系基金	1,749 円/トン	3,681,502,719	6,438,943,665	
合計	-	5,493,346,424	9,607,850,849	

令和4年度第1四半期

(単位：kg、円)

基金名	補填単価	補填対象数量	交付金の額	交付年月日
全農基金	4,761 円/トン	1,550,848,011	7,383,581,224	令和4年8月10日
畜産基金	4,761 円/トン	297,140,628	1,414,685,673	
商系基金	4,761 円/トン	3,799,129,712	18,087,651,834	
合計	-	5,647,118,351	26,885,918,731	

令和4年度第2四半期

(単位：kg、円)

基金名	補填単価	補填対象数量	交付金の額	交付年月日
全農基金	11,346 円/トン	1,495,209,522	16,964,641,728	令和4年11月14日
畜産基金	11,346 円/トン	291,131,303	3,303,174,959	
商系基金	11,346 円/トン	3,646,737,743	41,375,882,029	
合計	-	5,433,078,568	61,643,698,716	

令和4年度第3四半期

(単位：kg、円)

基金名	補填単価	補填対象数量	交付金の額	交付年月日
全農基金	496 円/トン	1,614,646,586	800,860,036	令和5年2月10日
畜産基金	496 円/トン	300,131,375	148,864,472	
商系基金	496 円/トン	3,922,591,044	1,945,601,614	
合計	-	5,837,369,005	2,895,326,122	

令和4年度第3四半期について、機構業務方法書第13条第1項第1号の規定により算出される単位数量当たりの異常補填交付金の限度額は1トン当たり7,404円となったが、これによる所要額が異常補填準備財産を上回ることとなったため、第13条第1項柱書の規定に従い、異常補填準備財産の範囲内で補填を行うこととした。これにより機構が定める単価は、1トン当たり496円となった。

- ③ 異常補填財源の不足に伴う、補助金勘定から積立金勘定への資金の繰入れ及び積立金勘定から補助金勘定への資金の繰戻しについて

令和3年度第4半期、令和4年度第1四半期、第2四半期及び第3四半期の異常補填交付金の交付にあたり、異常補填財源が不足したことから、業務方法書第12条第2項及び附則第22項の規定に従い、下記のとおり補助金勘定から積立金勘定への資金の繰入れ及び積立金勘定から補助金勘定への資金の繰戻しを行った。

(単位：円)

区分	繰入れ	繰戻し	補助金勘定から積立金勘定への繰入れ累計額
前年度末			15,027,818,869
令和3年度第4四半期		4,819,180,583	10,208,638,286
令和4年度第1四半期	13,462,965,235		23,671,603,521
第2四半期		14,314,126,328	9,357,477,193
第3四半期		1,360,504,698	7,996,972,495

- ④ 異常補填財源の不足に伴う、事業準備特定財産勘定から積立金勘定への資金の繰入れについて

令和3年度第4半期及び令和4年度第2四半期の異常補填交付金の交付にあたり、異常補填財源が不足したことから、業務方法書附則第21項の規定に従い、下記のとおり事業準備特定財産勘定から積立金勘定への資金の繰入れを行った。

(単位：円)

区分	金額
前年度末	937,846,547
令和3年度第4四半期	9,638,361,166
令和4年度第2四半期	4,423,792,287
今年度末	15,000,000,000

- ⑤ 異常補填財源の不足に伴う、事業準備強化財産勘定から積立金勘定への資金の繰入れについて

令和4年度第2半期及び第3四半期の異常補填交付金の交付にあたり、異常補填財源が不足したことから、業務方法書附則第29項の規定に従い、下記のとおり事業準備強化財産勘定から積立金勘定への資金の繰入れを行った。

(単位：円)

区分	金額
令和4年度第2四半期	40,759,990,603
第3四半期	2,721,009,397
合計	43,481,000,000

⑥ 通常補填推進財源貸付事業

各契約基金が、令和4年度及び5年度において通常補填を行うための財源に不足が生じたことから、機構が市中銀行から600億円を限度として借入れを行うこととし、令和4年度第2四半期（貸付日：令和4年11月14日）及び第3四半期（貸付日：令和5年2月10日）に貸付けを行った。

また、当該借入れに係る支払利息額16,516,489円について、農畜産業振興機構から補助金を受け、市中銀行に対し令和5年1月6日付けで支払いを行った。

各契約基金への貸付額 (単位：円)

基金名	第2四半期	第3四半期	計
全農基金	5,436,840,000	8,773,280,000	14,210,120,000
畜産基金	1,035,000,000	1,628,000,000	2,663,000,000
商系基金	-	8,515,410,000	8,515,410,000
合計	6,471,840,000	18,916,690,000	25,388,530,000

⑦ 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業

令和4年度第3四半期における配合飼料価格高騰緊急特別対策事業補填金について、農林水産省から補助金を受け、令和5年2月16日付けで各契約基金へ支払いを行った。

(単位：kg、円)

基金名	補填単価	補填対象数量	補填金の額	支払年月日
全農基金	6,750円/トン	1,610,041,484	10,867,779,469	令和5年2月16日
畜産基金	6,750円/トン	297,691,951	2,009,420,606	
商系基金	6,750円/トン	3,911,707,274	26,404,023,565	
合計	-	5,819,440,709	39,281,223,640	

(2) 調査事業（公益目的事業2）

飼料製造工場を対象に、飼料生産・出荷・在庫動向、工場渡価格、原料使用量、都道府県別生産量、都道府県別出荷先別出荷量等を毎月調査するとともに、飼料穀物の国際需給、価格、フレート等配合飼料に関連するデータを取りまとめ、「飼料月報」として毎月発行した。

## 4. 会議の開催

### (1) 総会

- ① 第 48 回定時総会 令和 4 年 6 月 22 日（書面）  
報告事項 令和 3 年度事業報告及び決算について  
令和 4 年 6 月 6 日理事石木俊治が会員全員に対して、上記の総会へ報告すべき事項について、書面を発出して通知し、令和 4 年 6 月 22 日までに会員全員から文書により、総会に報告することを要しないことに同意する旨の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 59 条の規定により当該事項の報告があったものとみなされた。
  
- ② 臨時総会 令和 4 年 8 月 5 日開催  
第 1 号議案 業務方法書の一部変更について
  
- ③ 臨時総会 令和 4 年 11 月 4 日開催  
第 1 号議案 定款の一部変更について  
第 2 号議案 長期借入金について  
第 3 号議案 業務方法書の一部変更について  
第 4 号議案 通常補填推進財源貸付事業に関する業務方法書の制定について  
第 5 号議案 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業に関する業務方法書の制定について
  
- ④ 臨時総会 令和 5 年 3 月 29 日開催  
第 1 号議案 定款の一部変更について  
第 2 号議案 理事の報酬総額及び監事の報酬総額について  
報告事項 令和 5 年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

### (2) 理事会

- ① 第 288 回理事会 令和 4 年 5 月 10 日開催  
第 1 号議案 令和 3 年度第 4 四半期異常補填準備財産の事業準備特定財産勘定から積立金勘定への資金の繰入れ及び単位数量当たりの異常補填交付金の額について
  
- ② 第 289 回理事会 令和 4 年 6 月 6 日（書面）  
令和 3 年度事業報告及び決算について及び第 48 回定時総会について、令和 4 年 6 月 6 日に理事全員から文書により同意する旨の、監事全員から文書により異議がない旨の意思表示を得たので、機構定款第 38 条第 2 項に基づき、理事会の決議があったものとされた。

- ③ 第 290 回理事会 令和 4 年 8 月 2 日開催  
第 1 号議案 業務方法書の一部変更について  
第 2 号議案 令和 4 年度第 1 四半期異常補填準備財産の補助金勘定から積立  
金勘定への資金の繰入れ及び単位数量当たりの異常補填交付  
金の額について  
第 3 号議案 臨時総会について
- ④ 第 291 回理事会 令和 4 年 9 月 9 日（書面）  
配合飼料異常補填交付金交付契約の数量変更について、令和 4 年 9 月 9 日に  
理事全員から文書により同意する旨の、監事全員から文書により異議がない旨  
の意思表示を得たので、機構定款第 38 条第 2 項に基づき、理事会の決議があつ  
たものとされた。なお、併せて、令和 4 年度上期における職務執行状況につい  
ての報告書を送付した。
- ⑤ 第 292 回理事 会令和 4 年 11 月 1 日開催  
第 1 号議案 定款の一部変更について  
第 2 号議案 長期借入金について  
第 3 号議案 業務方法書の一部変更について  
第 4 号議案 通常補填推進財源貸付事業に関する業務方法書の制定について  
第 5 号議案 令和 4 年度第 2 四半期異常補填準備財産の事業準備財特定財産  
勘定及び事業準備強化財産勘定から積立金勘定への資金の繰  
入れ並びに単位数量当たりの異常補填交付金の額について  
第 6 号議案 通常補填推進財源貸付金の限度額及び貸付額について  
第 7 号議案 会計処理規程の一部変更について  
第 8 号議案 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業に関する業務方法書の制  
定について  
第 9 号議案 職員就業規程の一部変更について  
第 10 号議案 臨時総会について
- ⑥ 第 293 回理事会 令和 4 年 12 月 27 日開催  
第 1 号議案 令和 4 年度第 3 四半期異常補填準備財産の事業準備強化財産勘  
定から積立金勘定への資金の繰入れ及び単位数量当たりの異  
常補填交付金の額について
- ⑦ 第 294 回理事会 令和 5 年 2 月 3 日開催  
第 1 号議案 令和 4 年度第 3 四半期に係る通常補填推進財源貸付金の限度額  
及び貸付額について
- ⑧ 第 295 回理事会 令和 5 年 3 月 22 日開催  
第 1 号議案 定款の一部変更について  
第 2 号議案 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業実施要領の制定について  
第 3 号議案 令和 5 年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投  
資の見込み（案）について

第4号議案	理事の報酬総額及び監事の報酬総額（案）について
第5号議案	会計監査人の報酬について
第6号議案	臨時総会について
報告事項	令和4年度下期における職務執行状況報告について

(3) 運営委員会

機構業務の円滑な運営及び推進を図るため、従来、運営委員参集のもと開催してきたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、WEBによる開催とし、又は運営委員あて資料の送付とした（WEB開催4回、資料送付3回）。

**5. 役員の異動**

令和4年度において、役員の異動はなかった。

**6. 事業報告の内容を補足する重要な事項**

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の内容とすべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はない。



< (参考) 主要業務処理事項 >

年月日	業 務 内 容
2022	
4. 11, 13	文野清正公認会計士に、令和3年度の決算について監査を受けた。
4. 15	村尾誠監事、加藤栄一監事に、令和3年度の決算について監査を受けた。
4. 18	運営委員会を開催した。(WEB)
5. 10	第 288 回理事会を開催した。(WEB)
5. 12	令和3年度第4四半期異常補填交付金 9,607,711 千円を交付した。
5. 13	農林水産省畜産局長より、令和4年度配合飼料価格高騰緊急対策費補助金の割当内示を受けた。 割当額 43,481,450 千円
5. 25	農林水産省畜産局長より、令和4年度配合飼料価格高騰緊急対策費補助金の交付決定通知を受けた。 補助事業に要する経費 43,481,450 千円 補助金の額 43,481,450 千円
//	運営委員会の資料を送付した。
6. 6	第 289 回理事会を開催した。(書面)
6. 22	第 48 回定時総会を開催した。(書面)
7. 15	運営委員会を開催した。(WEB)
8. 2	第 290 回理事会を開催した。(WEB)
8. 5	臨時総会を開催した。(WEB)
8. 10	令和4年度第1四半期異常補填交付金 26,885,919 千円を交付した。
8. 31	運営委員会の資料を送付した。
9. 9	第 291 回理事会を開催した。(書面)
10. 17	運営委員会を開催した。(WEB)
10. 24	(独)農畜産業振興機構理事長より、令和4年度肥育牛経営改善等緊急対策事業の補助限度額等の通知を受けた。 補助限度額 23,668,752 千円

年月日	業 務 内 容
11. 1	第292 回理事会を開催した。(WEB)
11. 4	臨時総会を開催した。(WEB)
11. 14	令和4年度第2四半期異常補填交付金 61,643,699 千円を交付した。
〃	通常補填推進財源貸付金 6,471,840 千円の貸付けを行った。
12. 2	農林水産省畜産局長より、令和4年度配合飼料価格高騰特別対策費補助金の 割当内示を受けた。 割当額 43,038,218 千円
12. 5	(独)農畜産業振興機構理事長より、令和4年度肥育牛経営改善等緊急対策事 業の補助金交付決定の通知を受けた。 補助対象経費 18,022 千円 補助金の額 18,022 千円
12. 9	農林水産省畜産局長より、令和4年度配合飼料価格高騰特別対策費補助金の 交付決定通知を受けた。 補助事業に要する経費 42,199,402 千円 補助金の額 42,199,402 千円
12. 21	文野清正公認会計士に、令和4年度の決算に関する中間監査を受けた。
12. 27	第 293 回理事会を開催した。(WEB)
2023	
1. 16	運営委員会を開催した。(WEB)
2. 3	第 294 回理事会を開催した。(WEB)
2. 10	令和4年度第3四半期異常補填交付金 2,895,326 千円を交付した。
〃	通常補填推進財源貸付金 18,916,690 千円の貸付けを行った。
2. 16	令和4年度緊急特別対策事業補填金 39,272,031 千円を交付した。
3. 13	農林水産省畜産局長より、令和4年度配合飼料価格高騰緊急対策費補助金の 割当内示を受けた。 割当額 10,311,372 千円
3. 14, 16	文野清正公認会計士に、令和4年度の決算に関する中間監査を受けた。

年月日	業 務 内 容
3.15	運営委員会の資料を送付した。
3.17	農林水産省畜産局長より、令和4年度配合飼料価格高騰緊急対策費補助金の 交付決定通知を受けた。 補助事業に要する経費 10,311,372 千円 補助金の額 10,311,372 千円
3.22	第 295 回理事会を開催した。(WEB)
3.28	農林水産省畜産局長より、令和4年度配合飼料価格高騰緊急対策費補助金の 割当内示を受けた。 割当額 37,951,800 千円
//	農林水産省畜産局長より、令和4年度配合飼料価格高騰緊急対策費補助金の 交付決定通知を受けた。 補助事業に要する経費 37,951,800 千円 補助金の額 37,951,800 千円
3.29	臨時総会を開催した。(書面)

## 会 員 名 簿

令和5年3月31日現在

会 員 名	代 表 者 氏 名	住 所
(独)農 畜 産 業 振 興 機 構	理 事 長 佐 藤 一 雄	東京都港区麻布台 2-2-1
(一社)全国配合飼料供給安定基金	理 事 長 折 原 敬 一	東京都千代田区内神田 1-4-1
(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金	理 事 長 隈 部 洋	東京都渋谷区代々木 1-37-2
(一社)全日本配合飼料価格畜産安定基金	理 事 長 正 好 邦 彦	東京都港区麻布台 2-2-1
全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会	経営管理 菅野幸雄 委員会会長	東京都千代田区大手町 1-3-1
全 国 酪 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 隈部洋 会 長	東京都渋谷区代々木 1-37-2
全 国 畜 産 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 加藤義康 会 長	東京都中央区新川 2-6-16
全 国 開 拓 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 新津賀庸 会 長	東京都千代田区平河町 1-2-10
日 本 養 鶏 農 業 協 同 組 合 連 合 会	代表理事 杉原健一 会 長	東京都千代田区神田須田町 1-7
(協)日 本 飼 料 工 業 会	会 長 正 好 邦 彦	東京都港区麻布台 2-2-1

## 役 員 名 簿

令和5年3月31日現在

役 職 名	氏 名	所 属
理 事 長	石 木 俊 治	(公社)配合飼料供給安定機構
専 務 理 事	長谷川 博 章	(公社)配合飼料供給安定機構
理 事	齊 藤 良 樹	全国農業協同組合連合会 常務理事
理 事	隈 部 洋	全国酪農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	杉 原 健 一	日本養鶏農業協同組合連合会 代表理事会長
理 事	正 好 邦 彦	(協)日本飼料工業会 会長
監 事	村 尾 誠	日本食肉流通センター卸売事業協同組合 専務理事
監 事	加 藤 栄 一	(協)日本飼料工業会 総務部長代理

# 運 営 委 員 名 簿

令和5年3月31日現在

氏 名	所 属 職 名
藤 本 啓一郎	(一社) 全国配合飼料供給安定基金 常務理事
深 井 厚 夫	(一社) 全国畜産配合飼料価格安定基金 専務理事
引 地 和 明	(一社) 全日本配合飼料価格畜産安定基金 常務理事
中 村 伊三雄	全国農業協同組合連合会 畜産生産部次長
工 藤 文 彦	全国酪農業協同組合連合会 購買生産指導部長
露 崎 正二郎	全国畜産農業協同組合連合会 事業部長
小宇都 良 則	全国開拓農業協同組合連合会 事業推進部長
鈴 木 崇 之	日本養鶏農業協同組合連合会 事業課長
高 橋 洋	(協) 日本飼料工業会 専務理事